

18歳プラス



討論する(左から)池上増田、バックンの巻氏(1月2日、東京地下代用区)

座談会 若者へのアドバイス ①

失敗は成功の消去法／立ち止まりも大切

今回も危機の時代を生きる若者へのメッセージを贈ります。ジャーナリストの池上彰さん、同じく増田ユリヤさん、バックンの愛称で知られるアレントのバトリック・ハーランさんに、人生の先輩として体験やアドバイスを聞きました。

今回の危機の時代を生きる若者へのメッセージを贈ります。ジャーナリストの池上彰さん、同じく増田ユリヤさん、バックンの愛称で知られるアレントのバトリック・ハーランさんに、人生の先輩として体験やアドバイスを聞きました。

今回も危機の時代を生きる若者へのメッセージを贈ります。ジャーナリストの池上彰さん、同じく増田ユリヤさん、バックンの愛称で知られるアレントのバトリック・ハーランさんに、人生の先輩として体験やアドバイスを聞きました。

今回も危機の時代を生きる若者へのメッセージを贈ります。ジャーナリストの池上彰さん、同じく増田ユリヤさん、バックンの愛称で知られるアレントのバトリック・ハーランさんに、人生の先輩として体験やアドバイスを聞きました。

今回も危機の時代を生きる若者へのメッセージを贈ります。ジャーナリストの池上彰さん、同じく増田ユリヤさん、バックンの愛称で知られるアレントのバトリック・ハーランさんに、人生の先輩として体験やアドバイスを聞きました。

今回も危機の時代を生きる若者へのメッセージを贈ります。ジャーナリストの池上彰さん、同じく増田ユリヤさん、バックンの愛称で知られるアレントのバトリック・ハーランさんに、人生の先輩として体験やアドバイスを聞きました。

今回も危機の時代を生きる若者へのメッセージを贈ります。ジャーナリストの池上彰さん、同じく増田ユリヤさん、バックンの愛称で知られるアレントのバトリック・ハーランさんに、人生の先輩として体験やアドバイスを聞きました。

今回も危機の時代を生きる若者へのメッセージを贈ります。ジャーナリストの池上彰さん、同じく増田ユリヤさん、バックンの愛称で知られるアレントのバトリック・ハーランさんに、人生の先輩として体験やアドバイスを聞きました。

今回も危機の時代を生きる若者へのメッセージを贈ります。ジャーナリストの池上彰さん、同じく増田ユリヤさん、バックンの愛称で知られるアレントのバトリック・ハーランさんに、人生の先輩として体験やアドバイスを聞きました。

今回も危機の時代を生きる若者へのメッセージを贈ります。ジャーナリストの池上彰さん、同じく増田ユリヤさん、バックンの愛称で知られるアレントのバトリック・ハーランさんに、人生の先輩として体験やアドバイスを聞きました。

今回も危機の時代を生きる若者へのメッセージを贈ります。ジャーナリストの池上彰さん、同じく増田ユリヤさん、バックンの愛称で知られるアレントのバトリック・ハーランさんに、人生の先輩として体験やアドバイスを聞きました。

今回も危機の時代を生きる若者へのメッセージを贈ります。ジャーナリストの池上彰さん、同じく増田ユリヤさん、バックンの愛称で知られるアレントのバトリック・ハーランさんに、人生の先輩として体験やアドバイスを聞きました。

今回も危機の時代を生きる若者へのメッセージを贈ります。ジャーナリストの池上彰さん、同じく増田ユリヤさん、バックンの愛称で知られるアレントのバトリック・ハーランさんに、人生の先輩として体験やアドバイスを聞きました。

今回も危機の時代を生きる若者へのメッセージを贈ります。ジャーナリストの池上彰さん、同じく増田ユリヤさん、バックンの愛称で知られるアレントのバトリック・ハーランさんに、人生の先輩として体験やアドバイスを聞きました。

学ぶ 磨く 育つ

お語り「コラム「神楽の大岡山通信」若者たちへ」は休みました。

編集委員 倉田武文

池上彰の大岡山通信



若者たちへ

▼233

学校を卒業して働き始めると、外国人と会話する機会が増えると思いませんか。そんなとき日本の文化や歴史が話題になることがあります。最近では新型コロナウイルス問題への対応で、オンラインによる会話の機会も増えています。外国人に話せる話題をつくっておくようにしましょう。

以前、中東取材でお世話になったヨルダン人が

日本の文化や歴史

外国人との会話の糸口に



池上さんは「話せるようになるには、まず情報を整理し、言葉にしてみるが大切」と強調した。

「がっているのか」。敬愛 殿に映ったのでしよう。(じいけん) なイスラム どの答えようか思案 教徒から見ても、東京の倍、企業や商店がイブンはどこか理解したい風 トとしてクリスマス企業

開かれるレセプションな

また、国際会議の後に

いきなり外国語で説明

画していることを説明し、どの場では日本人として、このほか日本には冠婚葬祭といった人生の節目の行事をそれぞれ異なる宗教の儀式で行う必要があることも解説する必要がありました。

お互い相手の言葉は話せない、英語での会話になり、日本の話に聞き手が、日本人がシェイクスピアの作品を原書で読んで海外の文化に親しむのと同じで、外国人は「源氏物語」を翻訳された現代英語で読むことができます。日

海外取材を通じて感じることは、外国人はとにかく、自分が生まれ育った文化や歴史、社会の話に詳しいということ

頭の中を整理して話をし、新しい世界が広がる。人生100年時代を築くために私達の義務をお勧めします。

学ぶ 磨く 育つ